



ボランティア・NPO

こんにちは、支援センターです。

〒930-0094 富山市安住町5-21 富山県総合福祉会館内 TEL:076-432-2987 FAX:076-432-2988
URL <http://www.toyamav.net/> E-Mail info@toyamav.net



新年あけましておめでとうございます

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

昨年もコロナ禍での生活を余儀なくされ、多くのボランティア団体やNPO法人には、事業の休止や縮小のほか、資金調達などにも深刻な影響があったのではないかと思います。その一方で、オンラインによるセミナー開催やクラウドファンディングの活用が見られるなど、人との接触を避ける新しい生活様式に沿った事業運営が広く定着してきたと思います。

当支援センターでも、交流サロンの利用制限やボランティア・NPO大会の規模縮小、オンライン講演会・相談会の開催などコロナ対策を講じながら、活動の継続に努めました。

今、コロナ禍において貧困や教育格差拡大など様々な社会問題が顕在化しており、皆さんのボランティア・NPO活動に対する社会的ニーズや期待がこれまで以上に高まってきています。

当支援センターでは、本年も引き続き、多くの方々にボランティア・NPO活動に参加していただく環境づくりを進め、活動の輪を広げ、心豊かでふれあいのある地域社会の実現に向け、貢献していきたいと考えています。



富山県民NPOファンドへの寄付金の状況

令和3年度に、当センターにお寄せいただいた寄付金は次のとおりです。(令和3年12月17日現在)

★寄付金申込件数 126件 ★寄付金総額 1,275,000円

多くの皆さまから、あたたかいお気持ちをお寄せいただき誠にありがとうございました。この資金を活用して、今後もNPO活動等への支援を行ってまいりたいと思いますので、皆さまのご芳志をお願いいたします。(本ファンドの寄付は、寄付金控除の対象となっています。)

富山県民NPO活動支援ファンド助成金 決定一覧

団体名	事業・活動名
NPO 法人ネットワークアシストたかおか	小中学校向けプログラミング講習会
NPO 法人きんたろう倶楽部	夏休み子どもわくわく自然観察会
ちょっこおいでまこども食堂キャンパス	種まき風土(フード)フードパントリープロジェクト
星槎国際高校富山キャンパスボランティア部	第9回元氣とやま紙芝居大会及び紙芝居読み聞かせ活動

ボランティア活動普及支援事業費補助金 決定一覧

団体名	団体名
協同組合高岡建設業協会	NPO 法人きんたろう倶楽部
NPO 法人 TEAM AVANTE	NPO 法人速川支援センター
六渡寺自治会	リボン from とやま
富山県地域活性化団体まるとと TOYAMA	



「第33回ボランティア・NPO大会」開催!

第33回ボランティア・NPO大会は、ボランティア・NPO活動の発信・参加・交流を目的として、2021年10月7日(木)と同16日(土)に開催しました。

7日(木)には、県総合福祉会館で表彰式典を執り行い、高木大会長と横田副知事からご挨拶をいただいた後、ボランティア活動に貢献のあった方々の表彰伝達を行いました。また、16日(土)には、富山市総曲輪グランドプラザでフェスティバルを開催し、35のボランティア団体やNPO法人の参加のもと、パネル展示による28の団体活動紹介ブース、6つの作品展示・販売ブースを設けるなど、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年よりも規模を縮小して実施した一方で、新たに、大型ビジョンによる20団体のPR動画の放映を行いました。

参加団体からは、「活動を紹介する方法として、いろんな方法を利用できたと思う。イベント場所がグランドプラザならではの方法だと思った。」「コロナ感染拡大が心配される中、開催でき良かった」などの感想をいただきました。おかげをもちまして無事2日間を終えることができました。ご来場の皆様、参加や運営協力をいただいた皆様、誠にありがとうございました。

12月に、大会企画運営委員会で大会報告と4年度計画について意見交換を行い、1月には参加団体による意見交換会を開催し、来年の内容を固めていく予定です。



ボランティア・NPO活動啓発オンライン講演会開催！

12月1日(水)に、これまで、ボランティア・NPO活動への理解と普及啓発を図ることを目的に開催してきた講演会を、三密が求められるコロナ禍においても効果的なものとするため、当支援センターとしては初めて、オンライン形式により開催しました。NPO法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD)代表理事の栗田 暢之(くりた のぶゆき)さんに、「災害から命と暮らしを守るために～災害支援NPOの現場から～」と題して、講演をいただきました。数多くの災害支援ボランティアの経験をもとに、災害支援体制の現状と課題や災害支援のあるべき連携の姿について近年の災害事例を交え説明いただきました。受講者からは、「災害ボランティアの全体像がよく理解できる講演会でした。」、「多くの災害現場でのボランティア支援についてお聴きすることはこれまであまりなく有意義な機会でした。」、「いろいろな事例の取り組みの課題、問題点などを詳しく学ぶ機会で大変良かったです。」など大変好評でした。



NPO 法人はあとびあ 21
からのご紹介！

団体リレー紹介！

NPO 法人 学校外教育支援協会
理事長 福本秀樹

当法人は、不登校の子ども達の訪問支援・学習支援、高校中退者の学習支援・進学支援を主な目的として、平成16年に設立いたしました。それぞれの子ども達が複合的な困難を抱える中で、いかに自己実現していくかを目標に関わっております。

平成22年には、厚労省の委託事業である地域若者サポートステーションの協力団体として活動の幅を広げ、令和元年には同受託団体として高岡地域若者サポートステーションを運営しております。なかなか一歩を踏み出せない、コミュニケーションが苦手、自信がない、何をして良いのかわからない等といったニートと言われる15歳から39歳までの若者の社会的自立を目指し、キャリアコンサルタントの国家資格を有したスタッフが臨床心理士と連携しながら、面談と様々なプログラムを取り揃え就労支援を実施しております。こういった学習支援・就労支援をする中で、発達に凸凹があるが故に様々な場面でうまく行動できない子どもや若者を目の当たりにし、発達の問題の早期発見・早期療育がいかに重要であるかを痛感しました。そこで、平成26年に、年中から小学生までを対象としたチャイルドパワー事業を立ち上げました。グループ指導ではSST※を実施し、個別指導では本人の特性(LD, ADHD, ASD等)に合わせて学習指導をしております。小学校で長年特別支援教育に携わってきた先生方が指導に当たっており、学校という組織の中ではなかなか出来なかったこと等、先生方の思いを具現化し指導の中で活かしております。日本LD学会正会員、特別教育支援士(SENSE)の資格を有した専門性の高い先生方も複数おります。平成30年には、県から障害児通所支援事業所の指定を受け、児童発達支援と放課後等デイサービス事業を実施しております。預かり型が多い中、将来的な自立につながるよう積極的に療育を行っております。

何なりと、ご相談いただければ幸いです。

※SST：ソーシャルスキルトレーニング(人が、社会の中でほかの人と関わりながら生きていくために、欠かせないスキルを身につける訓練)

New

NPO法人新規設立団体 (令和3年9月～)

団体名	代表者	所在地	設立目的	認証日
もったいないフードバンクとなみ	嶋村 信之	砺波市	市場に出すことはできないが、十分に安全な食品を事業者から無償で頂き、食品ロス問題に対する啓発事業や食品ロス削減を推進し問題解決を図り、生活困窮者への食料支援等、社会全体の利益の増進に寄与することを目的とします。	R03.9.28
統合医療と未来を考える会・富山	深井 紀美子	射水市	日本国民に対し、統合医療に関する研究・情報の収集・発信等に関する事業を行い、健康で快適な生活の維持に寄与することを目的とします。	R03.10.26
リボン from とやま	明柴 聡史	富山市	児童・保護者等や福祉サービスを必要とするものに対し、福祉サービスと地域貢献を行い、地域福祉向上と地域活性化に寄与することを目的とします。	R03.11.1
ワンハート野良猫応援隊	宮坂 幸子	黒部市	野良猫の繁殖制限や保護・譲渡に関する事業を行い、地域の生活環境を改善、人にも猫にもやさしいまちづくりに寄与することを目的とします。	R03.12.8
神通川トライアスロンスクール	安藤 佑介	富山市	富山県におけるスポーツの普及・指導や、富山県内のスポーツ関連団体との連絡調整を行うことを通し、富山県及び北陸地方の住民の健康促進並びに交流を図ることを目的とします。	R03.12.9



令和4年度ロッカー利用団体募集(無料)

富山県総合福祉会館(サンシップとやま)のボランティア交流サロンに設置しているロッカーの利用団体を募集します。印刷用の紙や文房具など、団体の活動に利用する物品の収納にぜひご活用ください。

◆利用内容:サンシップとやま3階 ボランティア交流サロン内 ロッカー

- (1)規格 ①幅393mm×奥行482mm×高さ395mm(ダイヤル施錠式)46個
②幅410mm×奥行413mm×高さ387.5mm(ダイヤル施錠式・仕切り有)7個

*1団体につき1個に限ります

(2)利用期間 令和4年4月2日~令和5年3月31日

◆応募資格:定期的にボランティア交流サロンを利用する団体で、県内でボランティア・NPO活動を行っている団体

◆利用料:無料 ◆申込方法:申込書・団体資料をFAX、メール、または郵送

◆申込締切:令和4年2月7日(月)必着

◆利用団体の決定:令和4年3月上旬(応募者多数の場合は抽選を行います)



NPO 法人設立説明会(オンライン開催)

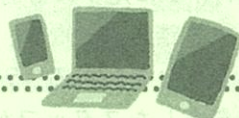
日時:1月24日(月)、2月21日(月) 13:30~15:00

開催方法:オンライン(Zoom 使用)

内容:①NPO 法人のメリット・デメリットなど ②設立や認証手続きについて ③設立についての相談

定員:10名 申込締切:開催日5日前まで

申込方法:メールで受付



NPO 法人会計税務基礎講座

日時:①簿記編:1月22日(土)・23日(日) ②税務編:1月29日(土)

時間はいずれも13:30~16:30

場所:富山県総合福祉会館7階703号室 講師:千田 篤さん(公認会計士・税理士)

受講料:各1,000円 定員:各日10名 申込締切:1月14日(金)

NPO 法人会計税務事務相談会

日時:1月20日(木)13:30~16:30

場所:富山県総合福祉会館3階交流会議室

講師:北陸税理士会所属の税理士

相談時間:1団体30分~1時間程度

申込締切:1月13日(水)

※締切後相談時間等のご連絡をします



NPO 法人の「決算資料作成説明会」

日時:2月15日(火)13:30~15:00

場所:富山県総合福祉会館5階501号室

講師:富山県県民生活課職員

対象:NPOの事務担当者など

定員:10名程度 申込締切:2月7日(月)



消費税の適格請求書等保存方式の導入に関する周知等について

令和5年10月1日から導入されることとなっている消費税の適格請求書等保存方式(インボイス制度)について、内閣府より周知依頼がありましたのでお知らせします。

インボイス制度においては、消費税の仕入税額控除のためにインボイス(適格請求書)の保存が必要となり、インボイスの交付を行うためには令和3年10月1日より開始された税務署への「適格請求書発行事業者」としての登録申請が必要となるといった現行制度からの変更点があります。

また、円滑な移行のため、免税事業者からの仕入についても、制度導入後3年間は仕入税額の80%、その後の3年間は仕入税額の50%を控除できる経過措置が設けられています。

国税庁特設サイトにおいて、インボイス制度に関するパンフレットやQ&Aのほか、国税庁動画チャンネル(YouTube)が公表されておりますのでご覧ください。

【お問い合わせ・お申し込み先】

富山県民ボランティア総合支援センターまで

TEL: 076-432-2987

http://www.toyamav.net/

Email: info@toyamav.net